

次号予告

特集 エネルギー市場の進化とそれを支える金融技術

エネルギー市場における自由化の進展と金融技術の活用

-山本 毅 (みずほ第一フィナンシャルテクノロジー)
安田茂史, 後藤 毅 (みずほコーポレート銀行)
- LNG取引におけるオプション価格理論の活用河本 薫 (大阪ガス)
- エネルギー産業の新しい展開と価値創造型市場ネットワーク高森 寛 (千葉商科大学)
- 第4次電気事業制度改革とJEPX取引分析の展望山口順之 (電力中央研究所)
- 電力取引と供給力の確保—米国北東部における容量市場導入の経緯と最新動向
.....服部 徹 (電力中央研究所)
- 卸電力取引所の創設がもたらす電力供給プレミアムの評価宮口直也, 大野高裕 (早稲田大学)

編集後記

●特集は「インターネット性能評価の新潮流」です。
●NTTでは、通信ネットワークを介して多様なサービスを提供することを長く研究していました。以前には、FAXを使った情報提供サービスや、「キャプテン」という現在のWWWに似たシステムがありました。ただし、多様なサービスを提供する共通基盤だからこそ、サービスによって異なる必要帯域や遅延時間のような要求条件は、通信ネットワーク側へ事前に申告されるものという前提が期待されていました。
●「デファクトスタンダード」や「ベストエフォート」という言葉を聞いた頃から趨勢が変わります。IPネットワークでの品質設計のためにTCPでの輻輳ウィンドウ制御を研究し、そのフローの多重化特性に関するモデル化を検討しましたが、OSが代替わりすると、その仕様が「Tahoe」, 「Reno」, 「SACK」へと変わる大なり小なりの変更が頻繁に起こるようになります。また、一般家庭の通信環境も、短期間にダイアルアッ

プ、ADSL、光と高速化が進み、WWW、P2P、動画共有のように人気サービスも変化します。ミクロな精度を積み上げるアプローチでは、絶えず変化していくインターネットを捉えることが難しいわけです。

●現在、ネットワークトモグラフィのようなパケットの測定からインターネットの内部情報を捕捉しようとする技術が注目されていますが、一部のルータにはサンプリングベースの測定機能がすでに実装されているため、賢く使い、その測定結果を正しく理解する知恵が求められています。

●巨大で複雑なインターネットとICT技術が、まだ革新のスピードを緩めるとは考えられません。その基盤の上で多様なサービスを安全・安心に利用できること、今後はベストエフォートでなく、品質が求められます。性能評価屋の本当の出番はこれからかもしれませんが、どんな道具を手にしたら良いのでしょうか。

(高野正次)

オペレーションズ・リサーチ 編集委員会

委員長 山下英明(首都大学東京)

委員 池上敦子(成蹊大学), 岡野裕之(日本アイ・ビー・エム(株)), 木村新之介(東京ガス(株)), 栗田佳文(防衛省), 高野正次(日本電信電話(株)), 齋藤彰一(株構造計画研究所), 高嶋隆太(東京大学), 田島博之(秀明大学), 田村一軌(財鉄道総合技術研究所), 田村亮二(キャノンITソリューションズ(株)), 豊泉 洋(早稲田大学), 生田目崇(専修大学), 根本俊男(文教大学), 廣津信義(順天堂大学), 増田浩通(千葉工業大学), 村井雅彦(株東芝), 八木恭子(東京大学), 渡邊 勇(財電力中央研究所)

本誌に掲載された記事についての著作権は、社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会に帰属する。

オペレーションズ・リサーチ

平成20年6月号 第53巻 第6号 通巻570号

代表者 青木利晴

発行所 社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会

東京都文京区弥生2-4-16 学会センタービル

電話 03-3815-3351(代) FAX 03-3815-3352 〒113-0032

<http://www.orsj.or.jp/>

編集人 山下英明

発売所 株式会社 日科技連出版社

東京都渋谷区千駄ヶ谷5-4-2 〒151-0051

●本誌のご注文は直接

日本オペレーションズ・リサーチ学会へ 定価970円(本体924円)年間予約購読料11,040円(税込)

●本誌への広告お申し込みは明報社(3546-1337)へ